

株主総会当日のご質問について

1	<p>Q: 役員人事について、現CFOの安藤潔氏と株式会社フリークアウト・ホールディングス（以下「フリークアウト社」という。）のCFOである永井秀輔氏はどのような役割分担になるのか。</p> <p>A: 当社の事業成長にはコーポレートの強化が必要だと考えております。取締役執行役員安藤潔氏と永井秀輔氏の両名が取締役に就任することにより、コーポレートの強化とフリークアウト社とのコーポレート組織の機能統合を進めてまいります。</p>
2	<p>Q: 先日の東海オンエアの騒動から、経営側とクリエイターとの間でミスマッチが起こっているように見える。取締役にクリエイターを追加することで、会社とクリエイターの関係をより強化させることは考えていないのか。</p> <p>A: 代表取締役梅景匡之氏、役員、各クリエイターの担当マネージャーは、クリエイターとの関係を重要視しております。そのため、クリエイターとの関係の構築の取り組みについては、今後も引き続き継続的に進めてまいります。また、東海オンエアの騒動についてはご心配をお掛けし大変申し訳ないと思っており、事態の収拾に努めております。</p>
3	<p>Q: フリークアウト社によるTOBIについて、フリークアウト社はどのようなメリットを考えて今回の買収を行ったのか。また、フリークアウト社が買収後に描くストーリーについて教えて欲しい。</p> <p>A: 当社の2023年8月10日付「株式会社フリークアウト・ホールディングスによる当社株券に対する公開買付けに関する意見表明及び同社との資本業務提携契約締結に関するお知らせ」及びフリークアウト社の2023年9月期通期決算説明資料の記載の通りです。</p>
4	<p>Q: TOBIによりフリークアウト社の子会社となったが、親子上場の弊害がある中で、子会社として上場維持を続ける背景を教えて欲しい。</p> <p>A: 当社とフリークアウト社では、クリエイターをマネジメントするビジネスモデルや企業文化に違いがあり、両社の強みを活かしてシナジー効果を発揮するためには、当社の独自性を維持する必要があると考えております。そのため、当社についても、フリークアウト社の子会社となっても上場を維持し事業成長を進めてまいります。</p>
5	<p>Q: 決算期の変更について、初年度の決算期を16か月に変更することは法律上問題ないのか。</p> <p>A: 今回の変更については、法令上、特に問題はございません。</p>

6	<p>Q: 決算期をフリークアウト社と統一するためであれば、16か月を1年と4か月で分けることもできたが、なぜ16か月なのか。</p> <p>A: 当社とフリークアウト社で協議をした結果、16か月とする方が事業を継続するうえで効率的であると判断いたしました。</p>
---	---